

## なかのカヤック

### 新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン

2022.5/8 改訂版

#### 【一般的な感染予防】

- ・日常生活において、3密(密集・密閉・密接)を極力避ける。
- ・業務中において、常に3密を避け、相手との適正な距離を保つもしくはマスクを着用する。
- ・行政や研究機関から発信される最新の情報などを定期的に確認し、予防対策を柔軟に改変していく。

#### 【健康管理の目安】

##### □ガイドの健康管理

- ・日々の健康管理に注意し、ツアー当日検温する。平熱(36.4℃)+1℃以上の発熱を目安に、発熱時は休業とする。
- ・発熱・せき・頭痛・倦怠感(体のだるさ)、嗅覚や味覚異常などの症状がある場合は営業を自粛する。
- ・ツアー後、発熱や呼吸器症状などのコロナウイルス感染の疑いが出た場合、営業を自粛し、自宅待機および保健所への相談をおこなう。同時に参加者へ連絡する。
- ・業務前後や日常では、石鹸などを使って丁寧な手洗いをおこなう。

##### □参加者の健康管理

- ・ツアー当日、受付時の検温で平熱+1℃以上の発熱がある場合、受け入れを中止する。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染治癒後15日未満または過去15日以内に感染症感染者と濃厚接触している場合、ツアーの参加は受け入れない。
- ・受付前の手指等の消毒を実施し、パドリングしていない時はマスク着用のお

願います（マスクや消毒液などを持参してもらおう）。

- ・ ツアー参加後、15日以内に発熱・せき・頭痛・倦怠感（体のだるさ）、嗅覚や味覚異常などの症状が出た場合、連絡をしてもらおう。

#### 【器材類の消毒】

- ・ ツアー前後は、カヤック器材の洗浄と当該ウイルスの残存期間を考慮して、適宜アルコール消毒をおこなう。（参照：北里大資料）
- ・ レンタル器材やウェアに関して、特に人の手が触れる部分や口からの飛沫がかかる部分は使用後の洗浄および消毒を入念におこなう。
  - パドル・カヤックデッキ（特にバウ側）/コーミング/ハッチ/トグルなど
- ・ レンタルウェアは、使用の度に十分な洗浄をおこない、当該ウイルスの残存期間を考慮して適宜消毒をおこなう。（参照：国立感染症研究所資料）
  - ライフジャケット・ウェットスーツ・ブーツ・スプレースカートなど
- ・ 以下の新型コロナウイルスの残存期間を考慮する。
  - 1) プラスティックやステンレスでの表面：72時間
  - 2) ダンボールの表面：24時間
  - 3) 銅の表面：4時間
  - 4) 空気中（エアロゾル）：3時間

#### 【利用フィールド】

- ・ 国や都道府県発表による休業要請など、法に基づく要請は遵守する。
- ・ フィールド関係者の理解を得た上でツアーを実施する。
- ・ 状況に応じて、ツアー前後の立ち寄りを必要最小限に抑えてもらう。
- ・ 医療崩壊予防のため、これまで以上に一層事故防止策を徹底する。

#### 【ツアー】

- ・ 受付時はマスクを着用、陸上レッスンや休憩時などは適切な距離を保つもしくは対面での会話を避ける（風向きなども考慮する）。
- ・ 集団での食事は感染リスクがあることを認識し、対面での飲食は避ける。
- ・ 海の上でくしゃみや咳をする際は、口と鼻をタオルや手ぬぐい、肘などで覆い、飛沫が拡散しないようにする。
- ・ 参加者同士の感染は、こちらでは責任を負わない。

- ・感染経路特定のため、参加者名簿の管理を適切におこない、個人情報の取り扱いには留意する。
- ・体調不良による場合、当日であってもキャンセル料はかからない。

#### 【参考資料】

- ・日本セーフティカヌーイング協会  
コロナウィルス感染症拡大防止に関するガイドライン
- ・北里大学 2020年9月1日プレスリリース  
[新型コロナウイルスに対する消毒薬の効果を検証](#)  
[日常生活における SARS-CoV-2 感染予防に有用な製品を評価](#)
- ・国立感染症研究所 国際感染症センター 2020年10月2日改訂  
[新型コロナウイルス感染症に対する感染管理](#)
- ・東北医科薬科大学病院 2020年12月10日改訂  
[新型コロナウイルス感染症 ～市民向け感染予防ハンドブック第3版](#)
- ・内閣官房  
[新型コロナウイルス感染症対策サイト](#)

※ 本ガイドラインは、新型コロナウイルスがインフルエンザなど、他の感染症と同じ扱いになるまで適用する。

---

2020年5月25日	作成
2020年6月22日	改訂
2020年7月31日	改訂
2021年4月10日	改訂
2022年5月8日	改訂